

行動宣言

世界は今、新自由主義と資本のためのグローバル化によって、格差と分断に覆われている。分配の不公平さによって生み出された紛争や戦争、貧困は、人々から日々の人間としての営みの意味をも奪ってしまった。また、中産階級の世界的凋落は、煽動的な言葉に刺激され、かれら以上に持たざる者達への排除や攻撃へと向かい始めている。それでも、あまりにも肥大化した金融資本経済は、理性なき野獣のようにとどまるところを知らず、さらなる格差と分断の中に私たちを落とし込もうとしている。規制の枠組みは、その効力をはっきりと失いつつあるのだ。

日本においても格差と分断は、大きく私たちの日常にその暗い影を落としている。子どもの相対的貧困率や大学生の奨学金問題、声高に叫ばれるヘイトスピーチや津久井やまゆり園での許されざる事件…。出口の見えないことへの徒労感と諦め…。

資本が海外へ逃げないために、世界一企業が活動しやすい国にするためと為政者が発言するとき、それは、働く者にとっては、労働の意味や賃金、労働時間が限りなく無法に搾取されることでもあったのだ。経済が国家を超える姿は明確になり、政治はその目的を違えつつあると言える。そのため、格差や分断の問題は、巧妙に隠蔽され、異議を唱えることもできず、人々はただ窒息しない程度に息をしているだけなのかもしれない。

他方、日本は世界の中でもトップを切って縮小社会に突入した。だが依然として関東圏への一極集中はますます顕著であり、地方における地域経済とコミュニティの破壊は加速度を増している。地方と高齢者の切り捨てが、今はっきりと始まった。

熱に浮かされたように、それでも発展・拡大する社会を求め政治・経済の流れに、ゆがみはますます激しく、私たちを苦しめることになるだろう。

私たち Ed. ベンチャーは、教育支援グループとして、弱い立場に立つ子どもたちの支援に取り組んできた。それはある意味、現在の社会の中での「補完」的な役割を担うことであつたし、また、分配に生じた誤差を再分配し直す取り組みであつたとも言える。しかし、この数年の世界や日本の状況の変化を考えると、私たちは私たちの行動の原理を変えざるを得ないところに来ている。つまり、「補完」する立場から、「異議」を唱え、「提起」する立場へと移行するということである。

これからの社会が進むべき道を少しでも明確にしつつ、その視点から教育を、そして弱い立場に立たされている子どもたちをとらえ直していかなければならない。

- 1 Ed. ベンチャーは、成熟社会を目指し、競争的でない、多様性を認め、持続可能な社会を構築する視点から、教育や私たちの活動を見直します。
- 2 1の視点での実践や研究、支援を積極的に行います。
- 3 外国にルーツを持つ子どもたち、障がいを持つ子どもたち、貧困におかれた子どもたちへの教育支援を行います。
- 4 原子力発電への反対を表明し続けます。

ぜひ私たちの活動にご参加・ご支援・ご協力ください。

正会員 (①②のいずれか、総会での議決権があります)

- ①年会費 1口6000円 1口以上
- ②積極的に活動に参加している学生

賛助会員 (総会での議決権はありません)

活動に賛同する寄付 (任意の金額)
任意の金額のご寄付により、賛助会員となり、寄付をいただいた年は会員サービスを正会員同様に受けることができます。

■ 入会・寄付のお申し込み方法

入会申込書にご記入いただき事務局にお持ちいただくか、Eメールまたはファックス、郵送にてお送りいただき、下記の方法にて会費をご納入ください。入会申込書をお持ちでない方は、ホームページからダウンロードしていただくか、事務局にご連絡ください。

■ 会費納入方法

【年会費・賛助会費(寄付)振込】

三井住友銀行 大和支店 普通 1368176
NPO 法人教育支援グループ Ed.ベンチャー
横浜銀行 中央林間支店 普通 6008076
NPO 法人教育支援グループ Ed.ベンチャー
ゆうちょ銀行 振替口座 00210-5-46744
(特非)教育支援グループ Ed.ベンチャー

他金融機関からの振込用口座番号 ○三九(ゼロニキュウ) 当座 0046744

お問い合わせ先 Ed.ベンチャー事務局

〒242-0007
大和市中央林間 3-16-12
グリーンコーポ中央林間107
(小田急江ノ島線「中央林間」駅西口徒歩5分)
TEL & FAX 046-272-8980
メールアドレス
toiawase@edventure.jp
ホームページ
http://edventure.jp



NPO法人 教育支援グループ Ed. ベンチャー 2022年 活動予定

私たちはこんな活動をしています

- ◆ 外国人や弱い立場の子どもたちの支援 ◆
- ◆ 学習に遅れる子どもたちの支援 ◆
- ◆ 学校が必要とするさまざまな支援 ◆
- ◆ 教職員とともに教育を考える活動 ◆
- ◆ 市民とともに教育課題を考える活動 ◆

☆弱い立場の者が大切にされる社会を目指して☆

☆多様な価値観や文化が豊かさにつながることを目指して☆

弱い立場にいる子どもたちの幸せを願って
Ed.ベンチャーが立ち上がってから十年が経ちました。
しかし、子どもたちを取り巻く状況はますます厳しいものになりました。
貧困と格差は拡大し、家族はますます社会の中で孤立しています。
グローバル経済の進行は、子どもたちにさらなる競争を求め
学校も家庭も子どもたちが安心できる場所ではなくなりつつあります。
社会の行く先がますます不透明になり
「不安」ばかりが人々の心を占める時代となりました。
それでも、私たちは粘り強く、子どもたちが「必要とするもの」を提供するために
これからも取り組みを進めていきます。

2022年 学習会中心テーマ「女性の生きづらさ」

※詳しくは見開き中央をご覧ください。



2022年4月からの活動予定

※変更になる場合がありますので、詳しくは事務局にお問い合わせ
ませいただくか、ホームページをご覧ください。

学校支援事業

●理論学習会〈対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド〉

メインテーマ 「学校が捨てられる・先生が捨てられる」

教育が「公的なもの」から「私的なもの」に変換される流れのなかで、学校や先生は、子どもたちや保護者から「捨てられかけている」。こうした状況下で取り組むべきことは、子どもたちや保護者からの、また教職員相互の小さな声を聞き取り、それらの言葉に意味と場所を与えることによって、現実の裏に潜んでいる「事実」を整理することである。2022年度は、お互いの言葉を積み重ね、編み上げていく作業をしていきたい。

- 4月29日(金) 13:00～15:00
「学習」「評価」から、今の学校教育が目指しているものを整理する
- 6月29日(水) 19:00～21:00
教室の親和性と競争原理が意味するもの
- 8月27日(土) 13:00～15:00
学校が求める「家族像」の問題性・女性の生きづらさの視点から
- 10月26日(水) 19:00～21:00
戦後、求められる「能力」はどのように変遷してきたのか
- 12月17日(土) 13:00～15:00
自分なりに学校を具体的に改革してみる

●授業研究会〈オンライン(Zoom)〉

メインテーマ カリキュラムの自主編成

時代は良くも悪くも速いスピードで変化しており、現代の社会が抱える問題は、多岐にわたっている。しかも、今まで当たり前だと思っていたことを根底から考え直さないといけないこともある。ましてや、正解がすぐ見つかるわけでもない。このような時代に学校でできることとして、カリキュラムの自主編成に取り組んでみたい。

- 5月16日(月) 20:00～22:00
ジェンダーについての現状認識のための学習会
- 7月25日(月) 20:00～22:00
ジェンダーについてのカリキュラムづくり
- 8月15日(月) 20:00～22:00
女性の働き方について学習会
- 11月21日(月) 20:00～22:00
女性の働き方についてのカリキュラムづくり

●スタディツアー〈オンライン(Zoom)〉

メインテーマ 「虐待」への対応

虐待に関する知識や対処、様々な障がいや課題を抱える子どもや保護者の実状を理解した上で、事例研究を行う。特に、母親・女性が抱える困難さに焦点をあて、そこに向き合い、寄り添う関わり方を考えていく。

- 5月21日(土) 14:30～16:00
講演会：虐待通告、そしてその後の子ども・家族との関わりにおいて
教員・学校が考えること
講師：上原樹氏(スクールソーシャルワーカー)
- 6月 事例研究会(開催日は事例報告者と決定)
- 9月3日(土) 14:30～16:00
講演会：子ども・保護者が抱える生きづらさと向き合い
講師：杉田真也氏(心理士)
- 10月 事例研究会(開催日は事例報告者と決定)

●外国人の子ども理解のための学習会

【学習会】と【事例研究会】の二本立てで、外国人の子どもへの理解を深めていきます。

【学習会】対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド

- 4月21日(木)19:00～21:00
講演会：国際教室を運営してみよう
講師：大和市立小学校 柳川実穂氏 座間市立中学校 藤木仁美氏
- 8月5日(金)13:30～16:00
講演会：「外国人が抱える家族の葛藤～女性に焦点をあてて～」
講師：日本女子大学教授 清水睦美氏
- 【事例研究会】オンライン(Zoom)月1回(4月8月12月は除く)全9回
○水曜日開催 19:00～21:00 2・5・7・10月
○土曜日開催 13:30～15:30 1・3・6・9・11月

●インクルーシブな社会を目指す学習会〈オンライン(Zoom)〉

- 柱1 子どもたちの抱える個々の課題や苦しさについて学ぶこと
- 柱2 学校におけるインクルーシブな授業・環境づくり

- 5月11日(水)19時～21時(柱1)
学習会：「不登校の子ども理解
～子ども自身とその母親の葛藤と実情を知る～」
講師：NPO法人 自由創造ラボたんぽぽ 代表理事 米澤美法氏
- 7月6日(水)19時～21時(柱2)
学習会：「インクルーシブな授業の提案①～中学校～」
提案者：綾瀬市中学校教諭 森尾宙教諭
- 9月25日(日)13時～15時(柱2)
学習会：「インクルーシブな授業の提案②～小学校～」
提案者：大和市小学校教諭 馬場貴司教諭
- 10月19日(水)19時～21時(柱1)
学習会：「愛着障害について」
- 11月2日(水)19時～21時(柱1)
学習会：「児童養護施設出身者の声」
講師：児童養護施設 唐池学園職員
- 12月7日(水)19時～21時(柱2)
事例研究：「インクルーシブなクラスづくり
～生徒の実感としてのインクルーシブ～」
提案者：綾瀬市中学校教諭 森尾宙教諭

2022年度より Ed. ベンチャー全体で核となるテーマを
決めて取り組んでいきます。

2022年度の核となるテーマ 「女性の生きづらさ」

貧困・労働問題・家族の問題など複数の問題がクロスするところに、現在の女性の生きづらさが浮かび上がってくる。他方で、女性の生きづらさは、歴史的な視点も必要とされる課題でもある。学校では何の疑いもなく「男女平等」と教えているが、実際には虚構としか思えない現実が広がっているのである。私達はこの問題をどのように整理し、何を語るのか。
2022年度は、各事業で年間1回以上、このテーマを正面に据えた活動を行うことで、この問題について重層的に学び、様々な角度から提起していきたい。
目指すところは、「我々は何を語り、何を実践することができるのか」である。

外国人支援事業

●子どもの居場所・学習支援教室 (エステレージャ・ハッピー教室)

【日時：毎週土曜日 10:30～12:30 場所：大和市立林間小学校など】

外国にルーツのある子どもの居場所作りと学習支援を行います。家庭や学校の話や丁寧な聞いて可能な範囲で支援をしたり解決を図ったりしながら、学習の支援をしています。
小中学生が共に体験したり学んだり話し合ったりすることを通して、異年齢の仲間と協力し、お互いの考えを知り自分の考えを深められるように、集団で学ぶ時間を設けています。

〈小学生教室〉

学習や遊びを通し子ども同士の関わりが深まるように促していきます。
宿題の他、国語・算数を中心に学年ごとの習得すべき内容の教材を用意して支援します。

〈中学生教室〉

丁寧な説明を加えながら学習を進め、学習内容の理解を深めていくようにします。
定期テストや高校受験のための特別な支援も行います。2、3年生向けに、先輩の経験から進路について学ぶ機会を持ちます。

〈母語教室〉

子どもたちの母語の維持、獲得のために、母語話者スタッフあるいは外部講師による母語教室を定期的に開催します。



普及啓発事業

●教育相談

学校・教師・行政・子ども・保護者・外国人当事者・支援団体等の各種相談に応じています。これらの相談事業をとらえて、当事者のニーズの把握と必要な支援を行うための事業の展開も検討していきます。
ご相談のある方は、気軽に事務局にお問い合わせください！一緒に考えていきましょう！

●多言語若手通訳者派遣

若手の通訳者の育成を目的として、多言語の通訳者派遣を行っています。経験が浅い部分を、Ed. ベンチャーのスタッフが通訳場面に付き添ったり、事前事後にフォローしたりします。今年度は、スペイン語・ベトナム語・カンボジア語・タガログ語の4言語の若手通訳者の派遣を行います。通訳・翻訳が必要な場合には、HPに申込書等がありますので、そちらをご覧ください。

●広報紙「Ed. ベンだより」の刊行

隔月で広報を刊行しています。「世界の視点を持って私たち自身の足元を見つめ、世界の動向を視野に入れつつ、足元の活動に取り組む」という目標のもと、現状分析に力を入れています。2014年の発行から8年で48号を数えています。今年度も、事業の案内や報告とともに、教育にかかわる社会状況を分析するための視点をお届けしたいと思います。既発行分はHPでご覧になれます。

